

み

ぶ

り

ん

だより

2020年6月号 Vol.70

壬生町市民活動支援センター「みぶりん」

■開館時間

火～金 10時～18時

■休館日

月曜日・年末・年始

土・日・祝 10時～17時

(火～金は予約をして頂ければ21時まで利用可能です)

〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1(保健福祉センター内) HP URL
電話 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732

Mail: miburin@bz04.plala.or.jp

<http://www.town-mibu.com/miburin/>

★メールアドレスを教えて頂ければ、毎月

みぶりんだより(カラー版 PDF)をメールでお送りします。



医療従事者へ「感謝」と「エール」のブルーイルミネーション



新型コロナウイルス感染症対策の最前線で働く医療従事者の方々へ「感謝」と「エール」を送り、町民等の感染拡大防止に対する意識向上を図る目的から、獨協医科大学病院の最寄り駅である「おもちゃのまち」駅西口広場のモニュメントへ、ブルーのイルミネーションが設置されました。(協力:チームOW、NPO法人みぶまち地域活性化21)

第13回 みぶりん活動発表会
発表団体・個人を募集します

日時▶10月11日(日)9:30~12:00(予定)

会場▶保健福祉センター 1F 会議室

★活動発表会 テーマ…分野別活動発表
発表形式:パワーポイントや実演等。発表時間:一団体・個人約15分
(5団体・個人程度)

★分野別交流会(予定)

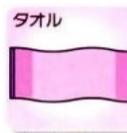
申込・問合せ▶みぶりんまで。

共催▶みぶりん利用者協議会

※感染症予防の為、内容は変更になる場合があります。

災害支援及び福祉活動用タオル・古布等
提供のお願い

みぶりん利用者協議会では、社会貢献活動の一環として、下記のものを募集いたしますので、ご提供をお願いいたします。ご提供いただきましたものは、町社会福祉協議会を通じて活用されます。



タオルは未使用・使用品どちらもOK。ハンカチは新品。

※受付は8月末日迄ですが過ぎても受け付けます。お手数でもみぶりんまでご持参ください。

市民活動支援センターみぶりんの利用について

利用の際は、感染症予防対策をお願いします。

- ・参加者の健康管理
- ・2、3人程度での入室
- ・手洗いの徹底や手指消毒・マスクの着用
- ・室内の換気 皆さまのご協力をお願い致します。

② ~活動紹介~

- ・壬生町点証グループゆうがお
- ・壬生町盆栽クラブ
- ③・災害ボランティア「頑張り隊」
- ・壬生町文化協会 民謡民舞連合部
- ④・壬生町茶華道協会
利用者協議会 全体会議報告

目
次



活動紹介



壬生町点訳グループ ゆうがお

グループでは、勉強会を第1・第3土曜日の月2回開催しています。

平成28年2月号より「広報みぶ」の点訳を開始しましたが、定例会ではその打合せ及び校正活動を行い、点訳技術の向上や情報交換をしています。

また、小学校や壬生高校の福祉授業で「点字」学習への協力や、健康ふくしまつりでは点字体験により視覚障がい者への理解を深めていただいている。

今年度は、壬生町において「点訳奉仕員養成講座」が開催されますので、新たに仲間が増えることに期待したいと思います。

(代表 大柿悦子 記)

※「点訳」とは、普通の文

字で書かれた文章を点字（指先の触覚により読み取る視覚障がい者用の文字）で書かれた文章に翻訳することです。



壬生町盆栽クラブ

壬生町盆栽クラブは、昭和42年の発足以来52年余の歴史があります。年間の活動として、春には「さつき展」、秋には「盆栽展」を城址公園ホールで、その他、理事会、勉強会を保健福祉センターで開催しています。

会員の楽しみは秋に行われる研修旅行で、車で盆栽園・神社・空港などを見学したりしています。

「盆栽とは何か。盆（鉢）で栽（植物）を栽培するだけでなく、鉢と植物が美術的に調和していること（盆栽作家 山田香織さんの言葉）」を目指しています。

(会員 金丸久様 記)



展示会にて
(若恵比須・わかえびす)



研修旅行・茨城空港にて



理事会



活動紹介



災害ボランティア「頑張り隊」

「災害ボランティア「頑張り隊」（高橋清美隊長）」は、2011年3月の東日本大震災直後（7月）に結成された団体で、2019年までに60回以上東北の被災地に出向き、復興支援活動（がれきの撤去、家財道具の搬出、泥だし、炊き出し、仮設住宅敷地の除草作業など）をしています。

2015年の関東・東北豪雨時には、壬生町内を含めた県内各地や茨城県常総市内の復旧作業支援もしています。

昨年10月の台風19号では県内各所で大きな被害がありました、その時も栃木市へ出向き、泥だし、家財道具搬出などの復旧支援をしています。

また本年は、新型コロナウィルス感染防止に役立ててもらおうと、マスクを手作りし町社会福祉協議会へ700枚あまりを寄付しました。（鈴木）



2011年 東日本大震災時



2015年 関東・東北豪雨時



2019年 台風19号時



2020年 マスク製作

壬生町文化協会 民謡民舞連合部

私達の部は、平成24年4月より民謡部から民謡民舞連合部に改称し、唄のみでなく踊りと太鼓を含めたグループとなりました。現在は、唄の会が喜峰会、美水会、勇樹会、貢峰会、踊りの会は美佐恵会、愛祥会、そして太鼓の駒柄会で構成されています。それぞれの会は、月に3～4回ほど先生の指導のもと練習を積んでいます。



全体の活動としては、毎年4月はしののめ花祭りにステージ出演し唄と踊りを披露、客席から手拍子を頂き盛り上がっています。8月にはふるさとまつりでかんぴょう踊りに参加しています。秋の文化祭では、部の最大のイベントである民謡民舞大会を開催。昨年は子供達が唄やお囃子で参加してくれました。日本の伝統文化を絶やさない為にも、これからもずっと続けてくれたらと思います。

各会個々の活動では、町の小学校へ民謡の出前授業をここ数年続けています。また町内や近隣の施設等を訪問し、唄や踊りを披露しています。太鼓の会では、盆踊り等の会場に招かれ、太鼓や唄、お囃子を披露し好評を得ています。

私達の仲間を募っています。一緒に楽しんでみませんか。（部長 大垣善巨様 記）




活動紹介


壬生町茶華道協会

町茶華道協会は、昭和53年に県茶華道協会に加入し、現在は社中を含め85名の会員で活動しています。

秋の県芸術祭茶華道展華展に毎年出品し、各市町のレベルの高い皆さんと肩を並べ季節の風情の花を飾りお客様に喜んでいただいている。県央地区開催時には茶席を設けてお迎えしています。その他、バスを仕立てて日帰り視察研修を実施しており、昨年は那須カゴメ工場を視察し食文化を研修しました。

町茶華道協会と町文化協会華道部・茶道部は一体化しており、しののめ花まつりの茶会、町文化祭華展・茶会、そして南犬飼中学校の輝光祭茶会に向けての指導などが主な活動です。

茶華道は精神文化です。美しい心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ。道の奥を極めましょう。

(会長 柴七郎様 記)



南犬飼中学校「輝光祭」での茶会



KAGOME 那須工場見学会

令和元年 6月17日(月)

令和2年度みぶりん利用者協議会全体会議行われる

町民活動支援センターみぶりん利用者協議会の令和2年度全体会議が5月17日保健福祉センターボランティア室において、利用者協議会役員15名が参加して開催されました。

今回の全体会議は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、全都道府県に緊急事態宣言が発出される憂慮すべき事態から、当初の開催内容を縮小して行われました。



全体会議では、各議案について審議いたしました。なお、皆さまからのご意見等は有りませんでした。

各議案の審議では、桑原史朗会長が議長となり事務局から議案の内容を説明する形で審議いたしました。また、会計監査報告では井上貞行監事から報告がありました。

審議の過程で予算案について一部修正を行い全会一致で可決されました。

また、令和2年度事業については、新型コロナウイルスの感染症予防対策が続いていることや皆さまの安全を図る観点からも、実施する場合は十分な情報を取り入れ安全対策をしっかりと行って開催することを確認いたしました。

10月11日開催予定の第13回みぶりん活動発表会については、今後の新型コロナウイルスの状況を見ながら検討して参りたいと考えており、今月号では開催のお知らせ及び活動発表団体の募集に関する記事を掲載いたしましたのでご了承願います。

▶議案第4号 令和2年度収支予算について（修正後）

1 収 入	2 支 出
参加費 36,000円	事業費 44,332円 交流会費、講師謝金ほか
雑収入 5,000円	雑 費 1,000円 消耗品ほか
繰越金 5,332円	予備費 1,000円
合 計 46,332円	合 計 46,332円

☆「みぶりんだより」は下記のところに置いています☆

みぶりん・保健福祉センター・壬生町役場・各出張所・各コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・歴史民俗資料館・体育館・みらい館・おもちゃ博物館・嘉陽が丘ふれあい広場・ふれあい交流館・シルバー人材センター・各小中学校・壬生高校

【編集後記】■先日、川のほとりを小学生くらいの子がランニングをしてその前をお母さんが自転車をこいでいました。ステイ・ホームで大変な時期を過ごされたと思います。これをきっかけに家族の絆が深まればいい機会だったと思います。（玉田）■歩きながら街の風景を見ていると、少しずつ街に元気が出てきているのを感じます。医療関係のかたも頑張ってくれています。私たちも頑張りましょう！（鈴木）■休園になっている公園や動物園等でネット配信されている可愛い動物たちや、季節のお花畠、木々の様子の動画に癒されています。（小田垣）